

放射線科、外科に通院中の患者さん(又は通院歴のある方)へ（臨床研究に関する情報）

本院（又は本学）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 術後膿瘍の診断目的での画像所見および対処の評価

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・放射線科 診療講師 上野 裕

《研究の目的》 この研究の目的は、術後膿瘍という手術に関連する合併症の早期発見を目的としています。この研究では主に画像診断でどのような所見があれば術後膿瘍の早期発見ができるかを検討しています。この結果が有用であると分かれば、早期の治療介入により、治療期間の短縮や治療に対する負担（手術など）が軽減される可能性があります。

《研究期間》 研究機関の長の承認日～2029年7月末日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

外科で手術を受けた患者さんで、胸部あるいは腹部の手術であった方で、2006年4月1日から2024年7月末日の間に術後早期にCTを撮像された方

●研究に用いる情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、治療内容、治療経過、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査など）、合併症の有無、転機など。

個人情報をも復元できる情報は、本院（又は本学）の研究責任者が保管・管理します。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：関西医科大学附属病院

《情報の利用又は提供を開始する予定日》 2024年9月15日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたいえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 放射線科 担当医師 診療講師 上野 裕

大阪府枚方市新町2丁目5-1 関西医科大学放射線科

電話 072-804-0101（代表） FAX 072-804-2547